

## UP50N-50H-W9-DO

最大50 Wまでのレーザー出力測定用サーマルディテクタ。



### プロダクトファミリーの主な特長

この製品は廃止されました。新製品については、[このページを確認してください](#)。

#### モジュール概念

お使いのディテクタのパワー能力を増加: 4つの異なる冷却モジュール

#### 超高損傷閾値

平均出力密度100 kW/cm<sup>2</sup>

#### 超大型アパーチャ

最大ビームに最適な、直径50 mmの効果的なアパーチャ

#### シリーズの中の最高エネルギーリーディング

最大500 Jのシングルショットエネルギーを測定

#### スマートインターフェース

すべての校正データを収容

#### 互換性のあるスタンド

[STAND-S-443](#)

## 仕様

### 測定性能

最大平均出力(連続)	50 W
最大平均出力(1分)	85 W
ノイズ等価出力 <sup>1</sup>	5 mW
スペクトル領域 <sup>2</sup>	0.193 - 10 μm
標準上昇時間 <sup>3</sup>	3.5 s
出力校正不確か率 <sup>4</sup>	±2.5 %
繰り返し性	±0.5 %

1. 公称値。実際値は測定システムの電氣的ノイズに応じて異なります。
2. 校正済みスペクトル域については、ユーザーマニュアルを参照してください。
3. 予測付。
4. 出力による線形性を含む。

### 測定性能(エネルギーモード)

最大測定可能エネルギー <sup>1</sup>	500 J
ノイズ等価エネルギー <sup>2</sup>	0.25 J
最小繰り返し期間	11.1 s
最大パルス幅	467 ms
エネルギー校正不確か率 <sup>3</sup>	±5 %

1. 360 μsパルス用。長パルス (ms) により高いパルスエネルギー、短パルス (ns) により低いパルスエネルギーが可能。
2. 公称値。実際値は測定システムの電氣的ノイズに応じて異なります。
3. 単発エネルギー校正をお求めの場合

### 損傷閾値

最大平均出力密度 <sup>1</sup>	100 kW/cm <sup>2</sup>
最大エネルギー密度 <sup>2</sup>	1.1 J/cm <sup>2</sup>

1. 1064 nmで、10 W CW。May vary with wavelength and average power.
2. 1064 nmで、7 ns、10 Hz。May vary with wavelength and pulse width.

### 物理的特徴

冷却

対流(放熱板)

開口直径	50 mm
吸収材	W
寸法	89H x 89W x 109D mm
重量	0.93 kg
注文情報	
UP50N-50H-W9-D0	200884
UP50N-50H-W9-BLU-D0	203679
UP50N-50H-W9-IDR-D0	203373
UP50N-50H-W9-INT-D0	203061

仕様は予告なく変更される場合があります。仕様の全容については、ユーザーマニュアルを参照してください。

## 本製品にご興味をお持ちですか？

見積をリクエスト

[gentec-eo.com/ja/contact-us](https://gentec-eo.com/ja/contact-us)で最寄りのセールス担当者をお探してください